

発行 2020年7月10日

たちかわ創造舎

〒190-0013
東京都立川市富士見町 6-46-1 旧多摩川小学校
Tel. 042-595-6347 Fax. 042-595-6348
info@tachikawa-sozosh.jp

—— 立川市旧多摩川小学校有効活用事業 ——
企画・運営 NPO 法人アートネットワーク・ジャパン
NPO 法人日本自転車環境整備機構
連携団体 たまがわ・みらいパーク企画運営委員会



はだかの王さま 耳はロバ

TITLE

はだかの王さま、耳はロバ

DETAIL

舞台は世界一の王さまを決める「王さまコンテスト」の会場、決勝に残ったのは「はだかの王さま」と「ロバの耳の王さま」、さあ、どちらの王さまがエライのか、決めるのは画面の前の皆さんです！



01 おしばいに触れる機会を絶やさず、いつでもどこでも “劇場”をつくり、楽しんでもらえるように

たちかわ創造舎オープン当初から開催し、幅広い年代の方々に楽しんでいただいている演劇公演「ほうかごシアター」。皆さまからのあたたかい応援のおかげで、今年5年目を迎えたのですが…、現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ドレミホールでの上演を自粛しています。

が！毎回会場に足を運んでくれる大人のお客さん、小学生たちの顔を思い出すと、じっとしていられます！「ほうかごシアター」をみんなに届ける方法は？出した答えは、動画配信！！

こうしてはじまった「ほうかごシアター・オンライン」。6月の演目は『はだかの王さま、耳はロバ』に決まったものの、「ほうかごシアター」は観客の協力なしには進みません！どうやったら参加してもらえるのか…。全公演の台本・演出を手掛ける“くらさん”こと倉迫康史（たちかわ創造舎チーフ・ディレクター）は考えます。そして出した答えは「声で参加してもらえばいいんだ！」

「王さまの耳はロバの耳」とナイショ話をする大人の声、「王さまは裸だー！」という子どもの大きな声をデータで集め、劇中の重要な場面に登場させることに成功！ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。

そして7月。今年度の「ほうかごシアター」は、昨年度開催した人気投票の上位作品を上演する予定だったので、そろそろ上位10作品の中の演目をお届けしたいな…ということで第6位にランクインした『泣いた赤鬼』の上演が決定！今回も皆さんに手伝ってほしいことがあるので、たちかわ創造舎 HP の公演情報をご覧のうえ、ぜひご協力ください。

もちろん、観客の皆さんの顔をみながら上演したい気持ちでいっぱいですが、動画配信というカタチにすることで、いつでもどこでも“劇場”をつくることができ、「ほうかごシアター」をお届けできるようになりました。私たちの気持ちはひとつ、「どのような状況であっても、おしばいに触れる機会をつくり続けていく」、です。

DATA
YouTube
たちかわ創造舎チャンネル

TITLE
泣いた赤鬼

DETAIL
日時：7月25日(土) 11:00より
YouTube・たちかわ創造舎チャンネルにてライブ配信
※ライブ配信終了後でもご覧になれます。
詳しくはHPをご覧ください。



Title Cover Design by munbase

02 ほうかごラジオ NOW ON AIR !

6月からスタートした「ほうかごラジオ」、聴いていただけましたでしょうか？YouTube・たちかわ創造舎チャンネルで毎週日曜 11:00 に更新、イベント情報やお知らせなどをお伝えしています。

予告なくゲストが音声で出演するなど、かなりゆる〜い番組なのですが、実は…チーフ・ディレクターの倉迫が原稿執筆、音声録音、編集など、すべて一人で担当しているんです！そこで、“くらさん”にラジオのこと、番組のことを聞いてみました。

「子どもの頃からラジオが大好きで、夜中にこっそり聴いたり、受験勉強のお供に聞いたり、アーティストやアイド

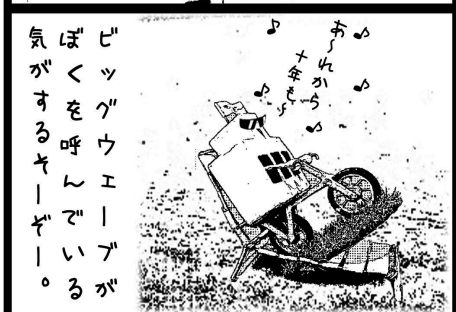
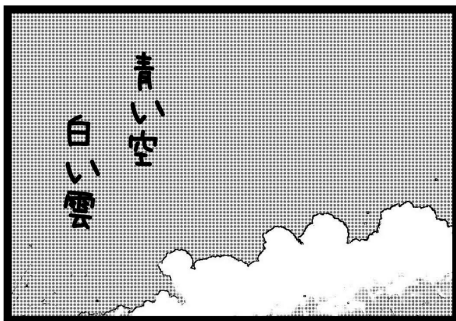
ルの素の声にときめいたり。トークの面白さも音楽の豊かさも日本語の美しさも、ぜんぶラジオで学びました。そんなくらさんが“ラジオごっこ”を始めてみました。短い放送時間ですが「親しみやすく言葉を届ける」ことをめざしていますよ。ぜひ、その“ごっこ遊び”へ一緒に参加、応援をしてくださいね！」

ほうかごラジオでは、リスナーの皆さんからのお便りをお待ちしています。番組への感想やくらさんへのメッセージなど、なんでも OK です。目指せ！再生回数 500 回越え！！

YouTube | たちかわ創造舎チャンネル

あつまれ！えんげきの広場

https://tachikawa-sozosh.jp/



おすすめ Book & Movie

BOOK

『ダルタニヤン物語』

(A・デュマ / 講談社文庫)

17世紀の英仏を舞台に、青年剣士ダルタニヤンがアトス・ポルトス・アラミスの三銃士と共に、王宮にうずまく陰謀へ立ち向かうハラハラドキドキの物語。剣と中世ファンタジー好きにはたまりません! 全11巻ありますが第1巻「友を選ばば三銃士」を読めば虜になります。



MOVIE

『この空の花—長岡花火物語』(2012年 / 日本)

監督 大林宣彦

長岡を舞台に描くヒューマンドラマ? ご当地のもの?と思われがちですが、そんなところのストーリー展開ではありません。早送りのようなセリフ、テロップ...でも常に根底にあるのは反戦への想い。戦後75年目の今年、花火大会は中止が相次いでいますが、長岡花火を映画でみてみませんか?

03 たちかわ創造舎のお気に入りの撮影場所はどこですか?
人気バラエティ番組「スカッとジャパン」の制作スタッフ・吉岡大輔さんに聞いてみました。——

なんと言っても、職員室で撮影できるのが魅力です! なかなかないんですよ、職員室が使える施設やスタジオ。なので、とても助かっています。

たちかわ創造舎は、教室、廊下、グラウンドなど学校全体を使うことができるので、限られた時間内でも移動を最小限に抑えることができますので、効率よく撮影することができます。他にも、下駄箱や体育館、周辺の土手など、いろいろなシーンを同じ日に撮影できるのも魅力です。

施設だけでなく、使用できる備品も多いので、裏方のスタッフも助けてもらっています。どんな時でもこちらの相談を聞き入れてくれて親身に対応してくれるので、とても充実した撮影環境です。これからもよろしくお願いします!

|番組制作|
吉岡大輔さん

DATA

「痛快TV スカッとジャパン」

毎週月曜夜8時から、フジテレビにて放送中!

<https://www.fujitv.co.jp/sukattojapan/>職員室▲
撮影の様子▼

シェア・オフィス・メンバー News

鮭スペアレ

企画製作する、たちかわシェイクスピアプロジェクト2020・中高生と創るシェイクスピア劇の「展示型」成果発表公演を、9月19日(土)に八王子市の学園都市センター・イベントホールで行います! 題して「ぐるぐる歩けば中高生が創った劇的な空間に出会える演劇」! 参加地域を全国に広げ、オンラインWSを駆使して開催した9ヶ月の集大成。もちろん、しっかり感染対策をとって開催します。美術館の様に見て回る「劇的空間」。乞うご期待!

風煉ダンス

7~9月の風煉ダンスは、新型コロナウイルスの影響で来年3月中旬に開催延期となった「房総里山芸術祭 いちはらアート×ミックス2021」へ向けての製作準備が再開します。また今年30周年を迎える風煉ダンスのこれまでの歩みを、過去の公演資料や舞台写真、動画をふんだんに使ってホームページやSNS、YouTubeチャンネルで紹介していく予定です。お楽しみに!

Chalk2U

年初からコツコツ作っていたハンドレタリング入門ガイドブック、やっと出来上がりました! 7月13日配信開始予定、Webサイトから無料でダウンロードできるようにします。ご利用のご感想ご意見など、お待ちしております! そして、解説動画用にYouTubeチャンネルを開設します。編集は...今の所うまくできません(涙)! 機材もありません! スマホと自撮り棒を駆使してチャレンジします。チョークレタリングのデモンストレーションもお見せする予定です。

すこやかクラブ

立川シアタープロジェクトの「あちこちシアター」で8月9日(日)に、たましんRISURUホール・大ホールで作品を上演します。『夏と遊ぶ、夏を踊る』と題して、夏をテーマにした弾けた作品にしようと思っています。ぜひ、遊びに来てください!! また現在、NHK・Eテレ「シャキーン!」にて、馬喰町バンドとのコラボ企画「こんな民話があるんだよ」というコーナーが時々放送されています。どうぞご覧ください。

TRYCLE



主に「スポーツバイク」を中心に取り扱い、お求め安い中古車からオリジナルでパーツから選ぶ新車販売も行ってまいります! その他にも「レンタルバイク」や「サイクリングツアー」なども行って、購入後も手厚くサポートさせていただきます! 「スポーツバイク」に興味がある方はぜひ一度お越しください。心よりお待ちしております!

SHOP DATA

OPEN 11:00 ~ 19:00

CLOSE 月曜、第2・4火曜日

TEL 042-595-6729

tamagawa.trycle@gmail.com

おそらく多くの人にとって、演劇や映画やライブは、暇な時・息を抜きたい時・楽しみたい時に行くものであって、自宅で日常的に楽しむテレビやゲーム、インターネットとは違った特別なものだったのではないのでしょうか。

けれど、コロナ禍における自粛期間は、その状況を一変させました。劇場にも映画館にもライブハウスにも行けなくなり、代わりに自宅で演劇や映画やライブをインターネット動画配信で見られるようになりました。しかし、それは皆さんにとって(目新しい体験だったとは思いますが)特別なものになったのでしょうか。

趣味、嗜好、贅沢、余暇と呼ばれるような特別な時間、それは日常の隣にいつもあり、手を伸ばせば届く距離にあるものでした。実は日常とは、そうした「特別なもの」に触れる時間も含めて「日常」だった、ということにあらためて気づかされたのではないのでしょうか。演劇や映画やライブは、同じくスポーツや外食やパーティーや旅行は、つかず離れず日常のそばを伴走し伴奏し、日常を支え彩るものです。私たちは皆さんの日常の隣人です。

日々は創造

オンライン会議に
映像製作に動画編集
楽しいけど目が...たちかわ
創造舎
Tachikawa Culture Factory
チーフ・ディレクター
倉迫康史